

令和5年度当初予算 主要事業

教育委員会事務局

事業内容	予算額 [令和4年度予算額]
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> 「個人と社会のウェルビーイングの実現」 一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」とことん追求できる「探究県」長野の学び </div> <div style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 1 一人ひとりが主体的に学び他者と協働する学校をつくる </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> デジタルの力を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 </div> <p>(新) <input type="checkbox"/> 認知や発達の特性に応じた学びの充実実証研究事業 711万5千円 [—]</p> <p style="text-align: right;">[学びの改革支援課、特別支援教育課]</p> <p>認知や発達に特性があり、学びづらさを抱える児童生徒の学びを充実するため、特性に応じた教育方法の在り方や個々の特性を把握するアセスメントの活用による学びの実証研究を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 授業環境の改善実証研究(小中学校4校) <input type="checkbox"/> 通級指導教室でのアセスメント及び最適な教材の提案(通級指導教室設置5校) <p><input type="checkbox"/> 障がい特性に応じたICT機器等活用促進事業(後掲) 225万9千円 [225万9千円]</p> <p style="text-align: right;">[特別支援教育課]</p> <p><input type="checkbox"/> ICT教育推進センター事業 100万円 [—]</p> <p style="text-align: right;">[学びの改革支援課、特別支援教育課]</p> <p>公立学校におけるICT機器整備の在り方やICT機器の授業での活用方法の研究、教員のICT活用力向上研修の充実を図ります。</p> <p>(新) <input type="checkbox"/> GIGAスクール構想をけん引するDXリーディング校事業 5969万8千円 [7311万円]</p> <p style="text-align: right;">[学びの改革支援課]</p> <p>1人1台端末の効果的な実践例を横展開していくため、他校とのオンラインによる協働学習など、授業連携を積極的に行う学校をリーディング校に指定するとともに、公開授業やSNSの活用により成果を発信します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> DXリーディング校(小中学校のうち1校) <p><input type="checkbox"/> ICT学習環境整備事業 1億8387万2千円 [2億4136万3千円]</p> <p style="text-align: right;">[学びの改革支援課、特別支援教育課]</p> <p>ICTを活用した個別最適な学びや協働的な学びを推進するため、機器の障害発生時に円滑に対応する「GIGAスクール運営支援センター」による支援や、生徒の学習状況を即時的に把握し指導改善につなげるシステムの活用などにより、ICTを活用した学びの推進を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> GIGAスクール運営支援センターの設置 <p>[拡] <input type="checkbox"/> 学習状況フィードバックシステムを活用した学力向上支援(中学2年生・小学5年生)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 教科学習におけるEdTech教材の活用普及 <p><input type="checkbox"/> ICT環境整備事業 702万1千円 [664万1千円]</p> <p style="text-align: right;">[学びの改革支援課、特別支援教育課]</p> <p>ICTを活用した効果的な授業展開や協働学習等を推進し、児童生徒一人ひとりの個別最適な学びの実現を図るため、県立学校のICT環境を整備します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 探究学習のためのICT機器整備等 <p>個人所有端末を活用したBYODによる1人1台端末の整備、授業や家庭学習で著作物が利用できる環境の整備</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 学習者主体の学校づくりに向けた魅力化・特色化 </div> <p><input type="checkbox"/> 幼児教育支援センター運営事業 702万1千円 [664万1千円]</p> <p style="text-align: right;">[学びの改革支援課]</p> <p>すべての幼稚園・保育所・認定こども園で質の高い幼児教育を提供するため、保育者研修等について検討するとともに、実践を通して学び合うフィールド研修等を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 実践園(5園)での園種を越えたフィールド研修の実施 <input type="checkbox"/> 保育者育成指標に基づく保育者研修の実施 <input type="checkbox"/> 幼保小の接続カリキュラム「実践編」に基づいた研修の実施 	

事業内容	予算額 [令和4年度予算額]
<p>□ 信州少人数教育推進事業 [義務教育課] 30人規模学級編制等に必要な教員配置を行うことにより、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行い、学習習慣・生活習慣の確立と基礎学力の定着を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 30人規模学級編制(小学校5・6学年、中学校全学年) 学級平均児童生徒数が35人を超える学年に教員を配置 ○ 学習習慣形成支援(小学校1・2学年) 複数教員による支援・指導(ティーム・ティーチング)のため、平均児童数が30人を超える学年の学級数に応じ教員を配置 ○ 少人数学習集団編成(小学校3～6学年、中学校全学年) 習熟の程度に差が生じやすい教科(小学校:算数、中学校:数学・英語)で、30人以下の学習集団が編成できるよう教員を配置 ○ 不登校等児童生徒支援 不登校支援等の課題対応に必要な教員を学校や市町村からの提案により配置 	<p>29億190万円 [31億80万円]</p>
<p>□ 小学校高学年における教科担任制推進事業(後掲) [義務教育課]</p>	
<p>(新) □ 個別最適な学び研究事業 [学びの改革支援課] 児童生徒自らが学習を調整、最適化する学びを実現するため、一人ひとりに合った教材を使用した最先端の自由進度学習等への支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アドバイザーによる実施校支援(小中学校4校) 	<p>128万8千円 [ー]</p>
<p>□ 県立高校「未来の学校」構築事業 [学びの改革支援課] 「未来の学校」実践校において、「卓越した探究的な学び」等をテーマに先進的・先端的な研究・実践に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実践校 県立高校6校 	<p>639万9千円 [633万4千円]</p>
<p>□ 単位制を活用した教育課程効果検証事業 [高校教育課] 学年による区分を設けず、多様な科目を柔軟に選択することができる単位制の仕組みを活用した教育課程を編成・実施し、その効果について検証を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 長野高校(1・2年次)、松本県ヶ丘高校(全年次)、屋代高校(全年次)、軽井沢高校(1・2年次) 	<p>1億7787万5千円 [1億729万8千円]</p>
<p>□ カリキュラム編成支援事業 [学びの改革支援課] 「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、生徒や学校、地域の状況等に応じて、特色ある教育課程を編成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特色あるカリキュラムの編成・実施 県立高校78校 ○ 「学び直し」に係るカリキュラムの編成・実施 県立高校50校 	<p>9589万9千円 [9589万9千円]</p>
<p>□ 高大接続改革対策支援事業 [学びの改革支援課、高校教育課] 高大接続に対応可能な思考力・判断力・表現力の定着と主体性をもって多様な人々と協働的に学ぶ資質・能力を培うとともに、最先端の研究に触れる中で生徒が新たな可能性を伸ばし成長できる環境を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の枠を越えた協働的・探究的な学習会・合同講座等の開催 <p>(新) ○ 大学研究室との連携</p>	<p>639万3千円 [1059万7千円]</p>
<p>□ 県立高校改革推進懇談会開催事業(後掲) [高校再編推進室]</p>	
<p>□ 学校と社会をつなぐ連携コーディネーター配置事業(後掲) [高校教育課]</p>	
<p>探究を核とした学びを推進するための教員自らが学ぶ研修の充実、教職員の資質向上</p>	
<p>(新) □ 特色ある私学・民間等と連携した「探究」研修プログラム開発運用事業 [学びの改革支援課] 探究を中核とした学びの改革を推進するため、学びの改革を担う教員研修の充実や、私立学校・民間企業等と連携した教員養成研修プログラムの開発を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 探究学習指導力向上研修(公立学校教員40名程度) ○ 探究研修プログラムの開発 	<p>555万8千円 [ー]</p>
<p>□ 「学びの改革」フロンティアスピリッツ事業 [学びの改革支援課、特別支援教育課] 小・中学校、高等学校、特別支援学校の教員が、国内の先進的・先端的な教育や企業等の現場から学ぶことにより、新たな知見や発想を得るとともに、教員の意識改革を推進します。</p>	<p>97万4千円 [270万8千円]</p>

事業内容	予算額 [令和4年度予算額]
<p>□ 学校人権教育推進事業 [心の支援課] 学校人権教育研修会やファシリテーター研修会の開催等により教職員の人権感覚を高めるとともに、指導力の向上を図ります。</p> <p>□ 教職員研修事業 [学びの改革支援課、義務教育課、高校教育課、保健厚生課] 教員が各キャリアステージにおいて担う役割を明らかにするとともに、自らの職責や経験、適性に応じて効果的、継続的に学び続けることができるよう、長野県教員育成指標に基づき研修を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新任教員が、教科指導や生徒指導について、基礎的・基盤的な力を身に付ける「初任者研修」 ○ 採用から5年以上の教諭が学級経営、教科指導、生徒指導等に関わる専門性を高める「キャリアアップ研修Ⅰ」 ○ 採用から10年以上の教諭がこれまでの自分の実践を振り返りながら専門性を高める「キャリアアップ研修Ⅱ」 ○ 充実期の教員が、学校の中核となる教員として専門性や人間性を高める「キャリアアップ研修Ⅲ」 ○ 教員育成協議会 ○ 採用前におけるわいせつ行為防止研修 <p>□ 教員の資質向上・教育制度改善事業 [教育政策課、義務教育課、高校教育課、特別支援教育課] 平成25年7月に策定した「信州教育の信頼回復に向けた行動計画」に基づき、信州教育への信頼回復に向けた取組を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コンプライアンス委員会及びコンプライアンスアドバイザーの設置・運営 ○ 匿名性を担保した授業評価・学校評価の実施 ○ 教職員通報・相談窓口の設置・運用 (新) ○ 専門家の協力を得た児童生徒への性暴力事案の調査 <p>□ 指導力不足等教員改善事業 [教育政策課] 有識者からなる判定委員会が客観的な視点のもとに、児童生徒に対する教育の責任が果たせない教員を指導力不足等教員と判定し、研修の実施など適切な対応策を講じることにより、教員の資質向上等を図ります。</p>	<p>339万8千円 [331万9千円]</p> <p>7772万9千円 [7778万7千円]</p> <p>167万9千円 [148万2千円]</p> <p>36万3千円 [39万7千円]</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 教員のウェルビーイング向上のための働き方改革 </div>	
<p>(新) □ 欠員対策のための教員配置事業 [義務教育課] 年度途中の急な教員の休職等に代替教員が確保できない場合において、子どもへの切れ目ない学びを確保するため、欠員対応の教員を配置します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 欠員対応の教員配置(小中学校教員4名) 	<p>2040万円 [ー]</p>
<p>(新) □ 産育休代替教員の事前配置による子どもの学び継続事業 [義務教育課、特別支援教育課] 年度当初からの教員確保の改善を図るため、5月から7月に産育休となる教員の代替教員を年度当初から前倒し配置し、子どもの学びの継続と産育休教員の負担軽減を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 産育休代替教員の事前配置(小中学校教員3名、特別支援学校教員1名) 	<p>1988万6千円 [ー]</p>
<p>[拡] □ 小学校高学年における教科担任制推進事業 [義務教育課] 授業の質の向上や教員の担当授業時数軽減等による学校教育活動の充実及び教員の負担軽減を図るため、小学校高学年に専科指導教員を配置します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 専科(主に外国語、理科、算数、体育)指導の教員配置 小学校教員75名(R4:61名) 	<p>3億8250万円 [3億1110万円]</p>
<p>[拡] □ 教員業務支援員配置事業 [義務教育課、高校教育課、特別支援教育課] 学習プリント等の準備や採点業務、来客・電話対応、児童生徒の健康観察及び消毒作業等に係る教員の業務負担軽減を図り、教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できるよう、授業以外の諸業務を補助的に行う教員業務支援員を配置します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 配置校 小・中学校357校(R4:321校) 高等学校53校 特別支援学校19校 	<p>3億6109万円 [2億9161万2千円]</p>
<p>□ 教職員復職訓練・健康審査・健康相談・研修事業 [保健厚生課] 精神神経系疾患による休職者等の職務能力の回復と円滑な職場復帰を図るため、復職訓練事業を実施します。また、メンタルヘルス研修会、管理監督者のためのメンタルヘルス相談事業により教職員の心の健康の保持増進を図ります。</p>	<p>167万2千円 [141万1千円]</p>

事業内容	予算額 [令和4年度予算額]
<input type="checkbox"/> 地域スポーツ・文化クラブ活動体制整備事業(後掲) [スポーツ課、学びの改革支援課] <input type="checkbox"/> 部活動指導員任用事業補助金(後掲) [スポーツ課、学びの改革支援課] <input type="checkbox"/> 高等学校における部活動指導員配置事業(後掲) [スポーツ課]	
これからの時代に向けた高校改革・学びの改革の推進	
(新) <input type="checkbox"/> 県立高校改革推進懇談会開催事業 [高校再編推進室] 生徒や地域の期待に応える魅力ある県立高校とするため、有識者や様々な立場の方々から幅広く意見を求める懇談会を開催し、新たな学びや学校づくりに反映させます。 <input type="checkbox"/> 県立高校改革推進懇談会の開催(5回)	168万3千円 [—]
<input type="checkbox"/> 県立高校再編実施計画検討事業 [高校再編推進室] 「再編・整備計画」に基づき、統合新校ごとの「再編実施計画」を検討するため、「新校再編実施計画懇話会」において目指す学校像等について意見交換を行います。 再編・整備計画(一次分):小諸新校、佐久新校、伊那新校 再編・整備計画(二次分):中野総合学科新校、須坂新校、上伊那総合技術新校 再編・整備計画(三次分):長野東SF新校、長野千曲総合技術新校、岡谷諏訪総合技術新校、岡谷新校、茅野富士見新校、塩尻総合学科新校、安曇野総合技術新校	710万2千円 [295万1千円]
<input type="checkbox"/> 高等学校長野スクールデザイン(NSD)実施事業 [高校教育課、高校再編推進室] これからの新しい学びを支える学習空間デザインやZEB化に対応した県立高校の施設整備を行うため、外部有識者の知見を活用し、基本設計のベースとなる基本計画を策定します。 基本計画策定校 小諸新校、伊那新校、佐久新校、赤穂総合学科新校	3429万7千円 [3117万1千円]
<input type="checkbox"/> 高等学校校舎等計画改修事業 [高校教育課] 老朽化が進む県立高校において、快適な学習空間の実現やゼロカーボンに資する省エネ化を図るための計画的な改修を行うとともに、生徒が主体的に取り組む断熱改修など学習環境整美の活動を支援します。 <input type="checkbox"/> 修繕工事等の実施による施設の保全や快適な学習環境の整備 <input type="checkbox"/> 屋根・外壁等の改修、老朽化したトイレ設備の整備 <input type="checkbox"/> 気候変動対策等の環境学習を通じ、生徒が主体的に行う学習環境の整美を支援	13億4050万7千円 [4億2738万9千円]
<input type="checkbox"/> 県立高校空調設備整備事業 [高校教育課] 特別教室等への空調設備の整備を実施し、生徒の学習環境と教員の労働環境の向上を図ります。	5億8788万6千円 (4年度11月債務負担行為) [—] [※3年度2月 5億5021万4千円]
<input type="checkbox"/> 「海外での学び」推進事業(信州つばさプロジェクト) [学びの改革支援課] 世界の様々な分野で活躍できるグローバル人材を育成するため、高校生の海外留学を支援します。 <input type="checkbox"/> 県企画留学プログラムの実施 高校生を対象とした海外留学プログラム(SDGs探究コース、グローバルインターンシップコース、STEAMコース)を企画実施 <input type="checkbox"/> 個人留学への支援 高校生の個人留学に対し、留学費用の一部を助成 <input type="checkbox"/> ウイングシェア・プログラム 高校生が主体となり、留学への気運醸成を図るため留学フェア等を実施 (新) <input type="checkbox"/> 産学官連携コンソーシアム設立運営(トビタテ留学JAPAN拠点形成支援事業) 社会にイノベーションを起こすグローバル探究リーダーを育成するため、地域での産学官連携による高校生の海外留学支援に関するコンソーシアムを設立、運営	3825万円 [3479万1千円]
<input type="checkbox"/> グローカル人材育成事業 [学びの改革支援課] 信州に根ざし世界に通じる人材を育成するため、児童生徒の発信力やコミュニケーション能力を向上させる取組を推進します。 <input type="checkbox"/> グローバルリーダーを育成するカリキュラム推進事業 地域と世界のつながりに着目しながら社会課題を探究し、英語を用いて成果を発信・討議するカリキュラムを研究・開発することにより、信州に根ざしたグローバルリーダーを育成 指定校 県立高校2校	2億1331万4千円 [2億1690万9千円]

事業内容	予算額 [令和4年度予算額]
<ul style="list-style-type: none"> ○ 高校生国際交流促進事業 留学経験者とのワークショップや講演会等を通じて、高校生の留学に対する意識、気運の醸成を図るとともに、海外研修プログラムに参加する高校生に支援金を支給 ○ 信州英語教育ルネサンス事業 小・中・高の英語担当教員を対象とした英語指導力・専門性向上研修や小学校教員を対象とした免許法認定講習(英語)等を実施 ○ 外国語指導助手(ALT)配置事業 □ 科学教育推進事業 [学びの改革支援課] 長野県の「ものづくり」「イノベーション」を支え、けん引する科学技術人材を育成します。 ○ 科学オリンピック養成講座 高校生等を対象に専門分野(物理、化学、生物、地学、数学、情報)の大学教員による実力養成講座を実施 ○ サイエンス・アソシエーション・プロジェクト 高校等の企画により、国内の大学・研究機関・企業と連携して行う科学技術に関する研修を実施 ○ 信州サイエンスキャンプ 自然科学系の課題研究に関する合同研修会・発表会等を実施 ○ スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校支援事業 科学技術系人材の育成等を目指してカリキュラムを開発・実践 指定校 県立高校3校 ○ 信州みらいクリエイターズ育成事業 小中学生を対象に、ICTや数学、科学、技術などの力を融合させ新たなアイデアを生み出して形にする「信州Makers教室」や「信州Makersキャンプ」を実施 	<p style="text-align: right;">1053万5千円 [1041万8千円]</p>
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 信州教育の魅力向上・発信 </div>	
<ul style="list-style-type: none"> [拡] □ 教員志願者採用選考等事業 [義務教育課、高校教育課、特別支援教育課] 長野県の教員として働く魅力の発信や採用試験の見直しにより、質の高い教員の確保を図ります。 □ 「高校生学びのフォーラム&信州学」推進事業 [学びの改革支援課] 地域の文化・産業・自然などを理解し、ふるさとに誇りと愛着を持ち大切にできる心情を育むため、地域に根ざした探究的な学びである「信州学」を推進するとともに、探究学習の成果を発表し学び合う場を設けます。 ○ 高校生学びのフォーラム長野の開催 □ 少年自然の家の運営等 [文化財・生涯学習課] 指定管理者により、効率的な運営を図りつつ自然体験活動等を通して少年の健全育成を支援します。 ○ 「少年自然の家(望月・阿南)」において、自然体験や特色ある体験プログラム、体験活動指導者養成を実施 	<p style="text-align: right;">1310万1千円 [1132万4千円]</p> <p style="text-align: right;">977万3千円 [977万3千円]</p> <p style="text-align: right;">5726万6千円 [1億9494万6千円] [※4年度11月 118万9千円] [※4年度 2月 284万2千円]</p>
<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; display: inline-block;"> 2 一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境をつくる </div>	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 子どもの権利・安全の保障 </div>	
<ul style="list-style-type: none"> □ 県立高校における長期入院生徒への学習支援事業 [学びの改革支援課] 長期入院中の高校生が病室内で授業が受けられるようにするため、ICT機器を活用した遠隔教育や非常勤講師等による学習支援を行います。 □ 聴覚障がいのある生徒を支援する遠隔パソコン文字通訳システム活用事業 [高校教育課] 聴覚障がいのある生徒の学びを支援するため、授業中の音声を実タイムで文字表示する遠隔パソコン文字通訳システムを県立高校で活用します。 	<p style="text-align: right;">335万5千円 [381万5千円]</p> <p style="text-align: right;">348万5千円 [348万5千円]</p>

事業内容	予算額 [令和4年度予算額]
<p>□ 放課後等体験・学習支援事業 [文化財・生涯学習課] 放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちが安全で健やかに過ごすことのできる居場所づくりを推進するとともに、学習支援を必要とする小・中学生を対象とした学習支援の取組を推進します。 事業実施主体 市町村（補助率 2/3 以内）</p> <p>○ 放課後子ども教室 35市町村 87教室 小学校の余裕教室等を活用し、子どもたちが健やかに育まれる居場所づくりを推進</p> <p>○ 地域未来塾 22市町村 57教室 学習支援が必要な小・中学生に対し、地域の方の協力による学習支援を実施</p>	<p>1988万8千円 [1875万4千円]</p>
<p>□ 高校生等奨学給付金給付事業 [高校教育課] 公立高校の教育に係る経済的負担を軽減する必要があると認められる者に対して、授業料以外の教材費、学用品費、オンライン学習に必要な通信費等に充てるための給付金を支給します。</p>	<p>5億1385万4千円 [5億4530万7千円]</p>
<p>□ 高等学校等就学支援金交付事業 [高校教育課] 公立高校の授業料に係る経済的負担の軽減を適正に行うことにより、教育の機会均等を図り、公立高校における修学を支援します。</p> <p>○ 就学支援金の支給 支給要件: 保護者等の所得の課税標準額に6%を乗じ、市町村民税の調整控除額を減じた額が304,200円未満であるもの(年収目安約910万円) 支給金額: 授業料相当額(全日制の場合年額118,800円以内)</p>	<p>40億2658万円 [40億7359万5千円]</p>
<p>□ 高等学校奨学金等貸付事業 [高校教育課] 向学心を有しながら経済的理由により修学が困難な高校生に奨学金や遠距離通学費を無利子で貸与し、修学の促進を図ります。 奨学金貸与月額 公立: 18,000円 私立: 30,000円</p>	<p>8574万7千円 [1億462万5千円]</p>
<p>□ 日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業 [高校教育課] 高校に在籍する日本語が不自由な外国籍生徒及び帰国子女が、日本の高校生活に速やかに適応できるよう、各高校に生活支援相談員を配置します。 配置校 県立高校 25校 (延べ1,030時間)</p>	<p>312万7千円 [312万7千円]</p>
<p>□ 外国人児童生徒等指導研修事業 [学びの改革支援課] 外国人児童生徒等の指導に携わる教員等を対象に、児童生徒への指導や支援などについて研修会を開催し、指導力の向上を図ります。 研修会開催 専門研修(全県1回) 研究授業等の実践研修(4地区各2回)</p>	<p>29万1千円 [28万1千円]</p>
<p>□ 社会人権教育推進事業 [心の支援課] 全ての人を支えあい、共に生きる社会の実現を目指し、様々な場を通じた人権教育・啓発により、人権意識の高揚を図ります。</p> <p>○ 人権教育総合推進地域、人権教育研究指定校による子どもの権利や同和問題等の人権教育の実践的研究</p> <p>○ 子どもの権利等の人権をテーマとした学習講座を実施する市町村に対して助成 補助率 1/2以内(補助限度額 1講座当たり25,000円)</p> <p>○ 社会人権教育に関する研修会・研究協議会等の開催</p>	<p>543万5千円 [578万9千円]</p>
<p>□ 性被害防止に向けた指導充実事業 [心の支援課、保健厚生課] 子どもの性被害防止のため、学校外の人材を活用した指導を推進するとともに、児童生徒が性に関する正しい知識を習得し、自己や他者を尊重して健康な生活を送ることができる資質・能力を養うため、性に関する指導の充実を図ります。</p> <p>○ 子どもの性被害防止教育キャラバン隊を学校へ派遣</p> <p>○ 教員の指導力向上 ネットを契機とする性被害防止のための指導方法等研修会 性に関する指導研修会 専門研修 全県1回 学校種別ごとに対応した実践研修 4回 外部講師(医師、助産師等専門家)派遣研修 公立学校17校</p> <p>○ 指導者養成のための全国研修会への教員派遣 7名</p> <p>○ ホームページを活用した指導資料の提供</p> <p>○ 啓発資料「性被害防止教育啓発チラシ」の作成・配布</p>	<p>364万4千円 [360万6千円]</p>

事業内容	予算額 [令和4年度予算額]
<p>□ こどもの安全・安心対策推進事業＜令和4年度11月補正(国2次補正)＞ 〔保健厚生課、特別支援教育課〕 子どもの安全・安心を確保するため、送迎用バスへの安全装置の設置や登園管理システムの整備等を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公立幼稚園及び公立小中学校への設備導入支援 送迎用バス安全装置(公立小中学校115台)及び登園管理システム、子どもの見守りタグ(公立幼稚園7園) ○ 特別支援学校への設備導入 送迎用バス安全装置(52台)及び登園管理システム、子どもの見守りタグ(4校) <p>□ 学校安全総合支援事業〔保健厚生課〕 学校種・地域の特長に応じた地域全体での学校安全推進体制の構築を図るため、学校防災アドバイザー(学識経験者等の専門家)を学校に派遣するほか、公開授業の実施等により近隣の学校との連携を強化し、防災を中心とした学校安全の推進に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校防災アドバイザーによる安全教育・安全管理についての指導・助言 ○ 安全教育に関する公開授業の実施 <p>□ 学校安全指導力向上事業〔保健厚生課〕 地域や学校において、児童生徒等の安全を確保できるよう、学校における安全や危機管理に係る専門的研修等を実施し、教員の指導力向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校安全・防犯教育研修会、防災教育研修会、交通安全教育研修会の開催 ○ 心肺蘇生法実技講習会の開催 ○ 学校事故対応に関する講習会の開催 <p>□ 安全・安心な学校給食及び食育の推進事業〔保健厚生課〕 子どもたちに正しい食事のとり方や望ましい食習慣を身に付けさせ、心身ともに健全な発達を促すため、家庭・地域との連携のもと、学校における食育を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校・家庭・地域全体で取り組む食育推進事業 栄養教諭・学校栄養職員の専門研修 つながる広がる食育推進事業 令和元年度にモデル校において実施した学校・家庭・地域と連携した食育事業等を全県に発信 	<p>— 円 [—] [※4年度11月 2,974万円]</p> <p>366万6千円 [366万6千円]</p> <p>71万3千円 [71万3千円]</p> <p>59万9千円 [88万円]</p>
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 多様な学びの場・機会の充実や民間との連携による個別最適化 </div>	
<p>(新) □ 夜間中学設置検討事業〔義務教育課〕 戦後の混乱期に学校に通えなかった方、本国で義務教育を修了できなかった外国籍の方等への教育機会を確保するため、県内に設置がない夜間中学の設置について検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ニーズ調査の実施 ○ 設置検討会議(3回)、検討WG(4回)の開催 <p>(新) □ サマースクール等を活用した多様な学びの機会創出事業〔学びの改革支援課〕 子どもたちの多様な進路選択、興味関心に対応するため、民間団体等と連携し、学校外での学びの場を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市町村・民間団体等と協力したサマースクールの開催 	<p>393万3千円 [—]</p> <p>464万9千円 [—]</p>
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> インクルーシブな教育の一層の推進 </div>	
<p>□ 認知や発達の特性に応じた学びの充実実証研究事業(再掲) 〔学びの改革支援課、特別支援教育課〕</p> <p>□ 特別支援学校改革事業〔特別支援教育課〕 一人ひとりの可能性を最大限に伸ばすとともに、共生社会をリードする特別支援学校を実現するため、特別支援学校改革を推進します。</p> <p>[拡] ○ 特別支援学校専門性向上事業 自立活動担当教員を13名増員し、各校の自立活動の充実を図るとともに、担任への助言・支援を担う専門サポートチームの機能を強化</p>	<p>1億4728万2千円 [9629万円]</p>

事業内容	予算額 [令和4年度予算額]
<p>(新) ○ 行動面に困難のある児童生徒への支援の充実事業 外部専門家による実践的な研修を通じた、障がいのある児童生徒への行動支援の全県展開</p> <p>○ 特別支援学校学習環境改善事業 学習意欲、身体機能、コミュニケーション能力等の向上を図る図書及び教材などの学習環境を整備</p> <p>○ 多様性に対応できる外部専門家活用事業 一流のスポーツ選手や芸術家等を活用した授業、医療関係者等による教員への実践指導の実施</p> <p>○ 遠隔教育推進事業 重度重複障がい等により家庭等で学ぶ児童生徒に対し、タブレット端末を活用して遠隔授業を実施</p> <p>[拡] ○ LD等通級指導教室の設置事業 特別な支援を必要とする児童生徒が通常学級に在籍しつつ適切な教育的対応が受けられる学びの環境を整備 小・中学校におけるLD等通級指導教室 109 教室(R4:94教室) 県立高校におけるLD等通級指導教室 3 教室(R4:3教室)</p> <p>○ インクルーシブ教育推進リーダー養成事業 通常学級に在籍する発達障がいのある児童生徒への支援について、助言ができる通常学級の担任を養成</p> <p>○ 「副学籍コーディネーター」配置事業 地域の小・中学校に通う同世代の友だちと共に学べる機会を拡大するため、引率等を行う副学籍コーディネーターを配置 4名</p> <p>○ 特別支援学校就労支援総合事業 特別支援学校高等部生徒の「働きたい」という意欲を育て、「働く力」を高めるため、技能検定(清掃部門・喫茶部門・食品加工部門)の実施や就労コーディネーター5名の配置等による就労支援の実施</p> <p>○ 特別支援教育連携協議会 第3次長野県特別支援教育推進計画における取組状況の評価等</p> <p>[拡] ○ 特別支援学校スクールバス等緊急整備事業 スクールバス乗車を希望する児童生徒のニーズに対応できるよう増車(2台)をするとともに、応急的なニーズに対応するため、大型ワゴン車(3台)をリースにて運用</p> <p><input type="checkbox"/> 特別支援学校スクールバス感染症対策強化事業 [特別支援教育課] 医療的ケアを要する児童生徒等の通学時の感染リスクを低減するため、ジャンボタクシー等の借り上げによるスクールバスの増便を実施</p> <p>(新) <input type="checkbox"/> 障がい特性に応じたICT機器等活用促進事業 [特別支援教育課] 障がいのある児童生徒一人ひとりの特性やニーズに応じた支援を行うため、ICTやAT(アシスティブテクノロジー)の効果的な利活用により、自立と社会参加に向けた支援を実施します。 ○ 学習アプリや視線入力装置等を活用したトータル支援</p> <p><input type="checkbox"/> 特別支援学校長野スクールデザイン(NSD)実施事業 [特別支援教育課] これからの新しい学びを支える学習空間デザインやZEB化に対応した特別支援学校の施設整備を行うため、外部有識者の知見を活用し、基本設計のベースとなる基本計画を策定します。 基本計画策定校 松本養護学校、若槻養護学校</p> <p><input type="checkbox"/> 特別支援学校整備事業<令和4年度11月補正(国2次補正)含む> [特別支援教育課] 児童生徒の増加による教室不足への対応や、老朽化した学校施設・設備の改修及び修繕を計画的に行い、教育環境の向上を図ります。 ○ 特別支援学校教室増設事業 5校(伊那・飯田・安曇・小諸・諏訪養護学校) ○ 特別支援学校施設計画整備事業(屋根・外壁等の改修) 11校 16か所 等</p> <p><input type="checkbox"/> 特別支援教育就学奨励費事業 [特別支援教育課] 特別支援学校に通う児童生徒の保護者等の経済的負担を軽減するため、学用品やICT機器の購入費など就学に必要な経費を支給します。</p>	<p>1億3325万2千円 [1億1659万3千円]</p> <p>1131万円 [—]</p> <p>982万2千円 [3117万1千円]</p> <p>13億7931万9千円 [724万5千円] [※4年度11月 5億1940万2千円]</p> <p>3億2774万円 [3億4223万6千円]</p>

事業内容	予算額 [令和4年度予算額]
<p>□ 医療的ケア体制整備事業 [特別支援教育課] 特別支援学校に看護師を常駐配置し、痰の吸引などの医療的ケアを必要とする児童生徒が安全かつ安心して学べる教育環境を推進します。</p> <p>[拡] ○ 配置校 特別支援学校17校 常勤8名(人工呼吸器を使用する児童生徒の医療的ケアのため新たに6名配置)、非常勤40.1名 (R4:常勤2名、非常勤44.5名)</p> <p>○ 医療的ケア研修の実施、指導医の派遣による教職員の資質向上</p> <p>□ 障がい者チャレンジ雇用事業 [特別支援教育課] 知的・精神障がいのある方などの就業機会の拡大と、一般企業等への就職に向けたステップアップを図るため、県立学校等で障がい者のチャレンジ雇用を継続します。 チャレンジ雇用の実施 116名</p>	<p>1億2251万2千円 [1億2705万6千円]</p> <p>2億4426万1千円 [2億3896万7千円]</p>
<div style="border: 2px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">一人ひとりの特性に応じた学びの追求</div>	
<p>□ 認知や発達の特性に応じた学びの充実実証研究事業(再掲) [学びの改革支援課、特別支援教育課]</p> <p>□ サマースクール等を活用した多様な学びの機会創出事業(再掲) [学びの改革支援課]</p> <p>□ 障がい特性に応じたICT機器等活用促進事業(再掲) [特別支援教育課]</p>	
<div style="border: 2px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">福祉分野等との連携による困難や悩みを抱える子どもへの支援</div>	
<p>□ 安心して学べる学校づくりの推進 [心の支援課] いじめ、不登校等生徒指導上の諸課題に対して、未然防止や早期発見・早期対応に必要な支援及び相談体制の充実を図ります。 また、全ての子どもたちが安心して学べる学校づくりを推進するとともに、不登校を問題行動ととらえず、不登校児童生徒の社会的自立を支援するための仕組みづくりを推進します。</p> <p>○ 不登校児童生徒に対する学びの継続支援事業 不登校児童生徒の学びを継続できるようにするため、民間を含めた支援者同士の情報共有や市町村間の連携を促進 支援の仕組みづくりに取り組む市町村へのサポート体制を整備</p> <p>○ 高校生インターネット適正利用推進事業 インターネットやスマートフォン等の利用に伴う様々な問題を防止するため、高校生が情報モラルについて自ら考え、自主的にインターネット利用のルールづくりが行えるよう支援することにより、インターネットの適正利用を推進 高校生ICTカンファレンス長野大会の開催</p> <p>○ 子どもの自殺対策推進事業 教員や子ども自身が心の危機のサインを理解し、適切に対応できるように自殺予防の取組を支援 コミュニケーション力向上と人間関係づくりを目的とした講師派遣 県立高校20校 「SOSの出し方に関する教育」の推進 子どもたちが、いのちや暮らしの危機に直面した時、誰にどうやって助けを求めればよいかの具体的・実践的な方法を学ぶ教育を推進 子どもの相談力向上のためのワークショップの実施 県立高校23校</p> <p>[拡] ○ スクールカウンセラー事業 児童生徒が安心して学校生活を送り、学習に取り組めるよう、児童生徒の悩みを早期に発見し、適切かつ迅速に対応できるようスクールカウンセラー(公認心理師、臨床心理士等)を配置し、学校内における相談体制を充実 スクールカウンセラーの配置 111名(R4:108名)</p> <p>[拡] ○ スクールソーシャルワーカー活用事業 いじめ、不登校、暴力行為などの背景にある家庭的な問題に対応するため、社会福祉や精神保健福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーを配置し、地域や専門機関等と連携して困難を抱える児童生徒を取り巻く環境を改善 教育事務所への配置及び市教育委員会への派遣 スクールソーシャルワーカーの配置 39名(R4:37名)</p>	<p>3億7207万4千円 [3億6642万円]</p>

事業内容	予算額 [令和4年度予算額]
<p>[拡] □ 学校生活相談体制充実事業 [心の支援課] いじめや不登校など児童生徒が抱える悩みを相談できる電話相談窓口「24時間子どもSOSダイヤル」や、LINE相談窓口「ひとりで悩まないで@長野」を設置拡充（R5:77日←R4:72日）し、子どもたちを取り巻く様々な問題の改善を図るとともに、いじめ等の未然防止を図ります。</p>	<p>2364万1千円 [2276万5千円]</p>
<p>3 生涯にわたり誰もが学び合える地域の拠点をつくる</p>	
<p>共学共創による地域づくり</p>	
<p>(新) □ 学校と社会をつなぐ連携コーディネーター配置事業 [高校教育課] 地域や企業等と共に学び、共に創る「共学共創」を実現するため、地域との新たな連携・協働を担うコーディネーターの配置に向けた検討を進めます。 ○ アドバイザーの参画による配置検討WGの開催(6回) ○ 研究校への連携コーディネーターの配置(高等学校2校)</p>	<p>274万2千円 [ー]</p>
<p>□ 信州型コミュニティスクール促進事業 [文化財・生涯学習課] 地域とともにある学校づくりを推進するため、保護者や地域住民が学校運営に参画し、学習支援や教育環境の整備等の協働活動や学校評価に一体的に取り組む「信州型コミュニティスクール」の取組を支援します。 ○ 信州型コミュニティスクールアドバイザーの派遣 コーディネーターや教員OB等をアドバイザーとして、信州型コミュニティスクールの取組の充実を目指す地域や学校へ派遣 ○ 地域コーディネーター・ボランティア等を対象とした研修会の開催 ○ 先進事例発表会や学校・市町村教育委員会訪問による普及・啓発</p>	<p>85万1千円 [58万円]</p>
<p>□ 学校評価の推進 [高校教育課、特別支援教育課] 地域に開かれた学校づくりを推進するため、県立学校に学校評議員を設置するほか、学校評価の充実を図ります。 ○ 学校評議員の設置 構成員 保護者・地域住民等 7名程度 実施校 県立高校、特別支援学校 ○ 学校自己評価、学校関係者評価 等</p>	<p>417万4千円 [417万4千円]</p>
<p>□ 長野スクールデザイン(NSD)実施事業(再掲) [高校教育課、高校再編推進室、特別支援教育課]</p>	
<p>□ 地域スポーツ・文化クラブ活動体制整備事業(後掲) [スポーツ課、学びの改革支援課]</p>	
<p>生涯を通じて学ぶことができる環境づくり</p>	
<p>□ 生涯学習推進センター事業 [文化財・生涯学習課] 県民が生涯にわたって学び、地域の課題解決を主体的に担うための生涯学習・社会教育活動を支援するため、デジタル技術を積極的に活用し、公民館・社会教育に係る指導者層の企画立案力や事業展開力の向上など人材育成を実施します。 ○ 指導者養成講座の開催 全国一を誇る公民館の活動支援を強化するため、ブロック別の公民館・社会教育に係る研修や市町村と協働した実践型講座を開催 ○ 公民館活動を支援する専門アドバイザーの派遣 市町村の公民館活動を支援するための専門アドバイザーを派遣</p>	<p>1293万5千円 [1298万8千円]</p>
<p>□ 県立図書館事業 [文化財・生涯学習課] 県内の公共図書館が、情報・知識基盤社会における多様な県民の知の拠点としての役割を果たすため、中核となる県立図書館の専門性・ネットワーク力を強化し、様々な情報を活かした新しい図書館づくりを進めます。 [拡] ○ 全ての県民が自由に「本」にアクセスできるよう、市町村との協働で電子書籍貸出サービスを提供するとともに、県立長野図書館の学術書・専門書の電子書籍を充実 ○ 共に学び合い新たな価値を創造する「信州・学び創造ラボ」の運営 (新) ○ 県立長野図書館が所蔵する大正期・昭和初期の郷土資料をデジタル化し、デジタルアーカイブプラットフォーム「信州デジタルコモンズ」に搭載して公開 ○ 県民の学びを創発するフォーラムの開催や公共図書館職員等の育成を推進する「これからの図書館人共育プログラム」の企画・実施</p>	<p>2億1066万6千円 [1億9877万6千円]</p>

事業内容	予算額 [令和4年度予算額]
<input type="checkbox"/> 県立歴史館事業(後掲) [文化財・生涯学習課] <input type="checkbox"/> 社会人権教育推進事業(再掲) [心の支援課]	
4 文化芸術・スポーツの身近な環境を整え、共感と交流が生まれる機会をつくる	
文化芸術、スポーツに親しむことができる機会を充実	
<input type="checkbox"/> 文化財修理及び防災事業 [文化財・生涯学習課] 県民共有の財産である文化財の適切な保存・活用を図り後世に継承するため、所有者等が行う文化財の修理・防災に要する費用の一部を助成します。 事業主体 文化財所有者等 補助率 国指定文化財:国庫補助残の1/2以内 県指定文化財:事業費の2/3以内	8355万円 [8538万9千円]
<input type="checkbox"/> 県立歴史館事業 [文化財・生涯学習課] 県立歴史館における地域貢献の取り組みを推進するため、地域課題をとらえた調査研究等に取り組むとともに、信州の歴史の魅力を伝える企画展や地域活性化に活きる情報発信を行い、歴史の学びから未来を考える県民の学びや地域活動を支援します。 <input type="checkbox"/> 歴史と文化の交流から見る本県の「古墳」などをテーマとする企画展の開催 <input type="checkbox"/> 来館する機会が少ない地域で歴史の魅力を伝える「お出かけ歴史館」(出前講座)の開催	5億1061万7千円 [2億5828万5千円]
(新) <input type="checkbox"/> 新「長野県史」編さん検討事業 [文化財・生涯学習課] 長野県成立150年(令和8年)を節目とした新たな「長野県史」の編さん開始に向けて、歴史分野の専門家や各界の有識者等の参画により対象年代や構成等の具体的な内容の検討を行います。 <input type="checkbox"/> 編さん方針検討会議の開催(3回)	74万5千円 [ー]
[拡] <input type="checkbox"/> 地域スポーツ・文化クラブ活動体制整備事業 [スポーツ課、学びの改革支援課] 地域全体で中学生の多様なスポーツ・文化活動の機会を確保するため、運営組織やスポーツ団体等の持続可能な運営に向けた体制整備や指導者の確保等を支援します。 <input type="checkbox"/> 地域スポーツ・文化活動推進会議の開催 <input type="checkbox"/> 休日の地域クラブ活動の体制整備や指導者配置支援(25市町村)	4355万9千円 [ー] <small>[※4年度11月 122万3千円]</small>
[拡] <input type="checkbox"/> 部活動指導員任用事業補助金 [スポーツ課、学びの改革支援課] 部活動の充実と、教員の部活動指導の負担軽減を図るため、公立中学校への部活動指導員の任用を支援します(R5:241名←R4:203名)。	4484万6千円 [3766万4千円]
<input type="checkbox"/> 高等学校における部活動指導員配置事業 [スポーツ課] 部活動の充実と、教員の部活動指導の負担軽減を図るため、県立高校へ部活動指導員を配置します。	190万円 [190万円]
<input type="checkbox"/> 生涯スポーツ推進事業 [スポーツ課] 子どもから大人まで生涯にわたって適性や目的に応じて運動やスポーツに親しむスポーツライフを創造できるよう、地域におけるスポーツ環境の充実を図ります。 <input type="checkbox"/> 地域におけるスポーツ活動充実のための総合型地域スポーツクラブ活動の推進 <input type="checkbox"/> 幼少期からの運動の習慣化を目指す「長野県版運動プログラム」の普及・定着	856万3千円 [887万9千円]
<input type="checkbox"/> 国際大会開催支援事業 [スポーツ課] ウィンタースポーツの更なる振興を図るため、白馬ジャンプ競技場での開催が予定されているスキージャンプの国際大会を支援します。	120万円 [120万円]
<input type="checkbox"/> 県立武道館運営事業 [スポーツ課] 県立武道館の運営を指定管理者に委託します。	9413万2千円 [8894万5千円] <small>[※4年度11月 622万8千円] [※4年度 2月 59万5千円]</small>

事業内容	予算額 [令和4年度予算額]
<p data-bbox="183 203 1198 253">「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の成功に向けた準備の実施、競技力向上</p> <p data-bbox="233 275 1198 342">□ 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会開催準備事業 〔国民スポーツ大会準備室〕</p> <p data-bbox="264 344 1198 432">令和10年に本県で開催予定の第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会(信州やまなみ国スポ・全障スポ)に向け、競技役員等の養成や市町村競技会場の施設整備に支援を行います。</p> <p data-bbox="209 443 791 539">[拡] ○ 競技役員等の養成(R5:966名←R4:887名) (新) ○ 競技運営に係る市町村競技施設の整備支援 ○ 大会開催基金積立</p> <p data-bbox="233 562 1198 629">□ 第82回国民スポーツ大会に向けた競技力向上事業 〔スポーツ課〕</p> <p data-bbox="264 595 1198 651">令和10年に本県で開催予定の第82回国民スポーツ大会における天皇杯・皇后杯の獲得と、大会終了後の競技力の維持・定着のため、選手強化を図ります。</p> <p data-bbox="209 658 1007 943">[拡] ○ 競技団体が実施する競技者の育成・強化への支援(強化費の増) ○ 令和10年に主力となるジュニア選手層の発掘・育成・強化 ○ 若手指導者養成 ○ 特殊競技用具整備 ○ 地域におけるスポーツ活動拠点の構築 ○ 医科学的なサポート体制を充実させるためのネットワークの構築 ○ ジュニア強化拠点クラブ支援 (新) ○ 成年強化拠点クラブ支援 (新) ○ スポーツ専門員の雇用</p>	<p data-bbox="1270 282 1477 371">1億5673万円 [1955万9千円] [※4年度2月 20億円]</p> <p data-bbox="1286 562 1477 618">3億5186万4千円 [3億円]</p>